

2019 年度事業報告書

I 事業概要

当協会は、滋賀県における国際交流活動を推進する中核的な団体として幅広い国際交流事業を展開しており、2016 年度からは第 2 期中期計画に基づき、「国際感覚に優れたひとづくり」「多文化共生の地域づくり」「情報収集・提供による環境づくり」「ボランティア、市民活動団体の活動促進」「協会の基盤整備」の 5 本柱に基づき事業を実施している。

2019 年度の重点的な取組としては、県内の外国人相談のワンストップセンターとして従来の外国人相談窓口を拡充し「しが外国人相談センター」と改称して開設した。また当協会は、その前身の財団法人滋賀県国際友好親善協会の設立から 40 周年を迎えたことから、節目としての記念事業を開催した。

また、外国にルーツを持つ子どもの進学と就労に関する情報を提供する場として、引き続き『進路フェア』を開催するとともに、子どものための日本語指導者養成講座を県教育委員会と連携して開催した。

その他、継続的な事業として、外国人住民に対する生活相談をはじめ多岐にわたる支援を行うとともに、行政、市民活動団体、NPO 間の連携を促進し、外国人住民が日本人住民とともに地域の一員として安心して生活できる多文化共生社会づくりに取り組んだ。

さらに、学校教育や社会教育の場における国際教育を推進するため、実践例や教材等の情報提供、講師派遣を行うなど、人材の育成に取り組んだ。

II 事業実績

[自主] : 自主事業、[助成] : 助成事業、[補助] : 補助事業、[委託] : 委託事業

《 国際感覚に優れたひとづくり 》

1 国際教育啓発事業

(1) 国際理解講演会の開催 [自主]

国際協会の設立 40 周年に際し、広く県民に国際理解を促すための講演会を開催した。

協会設立 40 周年記念講演会

テーマ : 「オモテナシからオトモダチへ」

講師 : モーリー・ロバートソンさん (国際ジャーナリスト)

開催日 : 11 月 30 日 (土)

会場 : ピアザ淡海 (大津市)

参加数 : 173 人

(2) 国際教育・開発教育の普及 (オリジナル開発教育教材の普及) [自主]

① オリジナル開発教育教材の普及

独自に開発した国際教育教材の普及を図るため、ワークショップの開催や講師派遣による実演、教材の貸出、販売等を行った。

- 「ブラジルボックス」 貸出件数： 31件
 - 「非識字体験ゲーム」 貸出件数： 2件
 - 「言葉がわからない」体験ゲーム震災編 貸出件数： 3件
 - 「わたしん家の食事からカードゲーム版」貸出件数： 4件
- 販売数： 16セット
販売数： 19セット
販売件数： 14セット

② オリジナル開発教材普及促進のための講師派遣

オリジナル開発教材を活用した授業・研修等に対して講師を派遣し、教材活用の普及および販売促進に努めた。 派遣数： 7件

③ 国際教育教材体験フェア in 滋賀の開催 (協力：JICA 関西)

開催日：8月9日(金)
会場：ピアザ淡海(大津市)
参加者：57人

④ 国際教育教材の貸出(オリジナル教材除く)

- ・所蔵数：682冊/点
- ・貸出件数 17件、貸出点数 延べ79点(オリジナル教材を除く)

(3) 国際教育の研究 [自主]

国際教育研究会「Glocal net Shiga」による研究

研究会開催回数：9回、参加者：延べ104名(開催日：参加者)
(4/27：7人、5/19：11人、6/2：13人、7/28：28人、9/29：9人、
10/28：6人、11/23：9人、1/19：11名、2/16：10名 3月キャンセル)

(4) 国際教育の担い手の育成 [自主]

① ファシリテーター養成講座の開催(共催：JICA 関西)

国際教育ワークショップ

「地球市民を地域とともに育てよう Part 18
日本で“外国人”になるということ～多文化共生社会を考える～」

講師：山中 信幸さん(川崎医療福祉大学教授)

開催日：11月23日(土)
会場：ピアザ淡海(大津市)
参加者：22人

② 国際教育の相談対応・出張講座のコーディネート

- ア. 国際教育講師紹介、教材・授業案に関する相談対応：40件
- イ. 講師派遣数：23件(オリジナル開発教材講師派遣数含む)
- ウ. 講師(国際協会職員)派遣、訪問研修受入

7/16	県立大津商業高校2年生	参加者	280人
8/6	滋賀県人権教育課 人権教育基礎講座	参加者	148人
8/7	近江八幡市立八幡小学校教員 人権研修	参加者	20人
8/8	滋賀県人権教育課 人権教育基礎講座	参加者	98人
8/20	石山高校2年生 人権委員研修	参加者	20人

・ 8/23	大津夜まわりの会 ひまわりの家	参加者	25人
・ 9/18	県立国際情報高校第2学年人権学習	参加者	230人
・ 10/2	東大阪市人権教育担当者交流会	参加者	100人
・ 10/31	立命館守山中学校2年生	参加者	150人
・ 11/8	湖南省立三雲東小学校	参加者	58人
・ 12/6	大津市立青山中学校1年生	参加者	168人
・ 12/10	湖南省立水戸小学校6年生	参加者	69人
・ 1/22	大津市立日吉中学校3年生	参加者	180人
・ 1/25	2019多文化共生フェスタ in あづち	参加者	80人

エ. 国際教育協働推進事業報告書発行

オ. アドバイス等

- 開発教育協会関西ブロック運営委員会「委員（主催：（特活）開発教育協会）」
- （特活）開発教育協会情報誌「DEAR News 195号」活動紹介執筆
- 県教育委員会主催「学校支援メニューフェア」出展（7月31日）

③ 「国際教育」に関する教員研修への参画

滋賀県人権教育課および滋賀県総合教育センターより依頼を受け、教員対象研修を担当した。

○滋賀県人権教育課「人権教育基礎講座」 [再掲]

草津会場

開催日：8月6日（火）

会場：草津市立まちづくりセンター（草津市）

参加者：148人

彦根会場

開催日：8月8日（木）

会場：彦根勤労福祉会館たちばな（彦根市）

参加者：98人

○滋賀県総合教育センター「教職2年次研修（選択研修）「国際理解」」

開催日：8月9日（金） [再掲]

会場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：10人

2 国際交流推進事業

(1) 裾野を広げる国際交流～身近な異文化体験～ [自主]

外国人アーティスト作品展 in ピアザ淡海

県内に住む外国人アーティストによる作品展をピアザ淡海ロビーで開催。

「LIGHTS UP YOUR LIFE! ～ココロにあかりを灯そう～」

アーティスト：ジョン リーさん

開催日：11月1日（金）～11月15日（金）

作品：竹灯籠、絵画等約30点

(2) ミシガン州立大学連合日本センター (JCMU) の管理運営 [委託]

① 施設の維持管理

JCMUの各種プログラムの受講者や県民等のニーズを把握し、快適な環境でセンターを利用できるよう施設の維持管理を適切に行った。

② プログラムの運営支援

センターが開催する英語プログラムの円滑な運営を図るため、広報活動の推進や国内諸機関と連絡調整を図った。

ア. プログラムパンフレットの作成・配布

- ・ 県民向け英語プログラムパンフレット

作成部数：学期用4, 000部/回

作成配布：4回(6月:夏学期、8月:秋学期、11月:冬学期、3月:春学期)

- ・ 子ども英語教室パンフレットの作成・配布

作成部数：500部/回

作成配布：1回(3月)

- ・ 国内留学プログラム

作成部数：3, 000部

作成配布：2回(7月、11月)

イ. 英語プログラム受講者数

【1. 講座名 (JCMUで実施)】

	受講者数
県民向け英語講座 (年4学期+集中コース)	440人
うちJCMU会場	367人
うち近江八幡コース	73人
こども英語教室 (彦根)	99人
国内留学 (2週間集中英語講座)	14人
中学・高校英語講座 (水口東中学・高等学校、米原高校、 虎姫高校)	234人 ※31+165+38
滋賀県幼小中教育課 (小学校外国語教諭)	37人
長浜市教育委員会 (小・中学校教諭)	135人
第29回ミシガンカップ滋賀県高校生スピーチコンテスト	70人

【2. 講座名 (講師派遣)】

	受講者数
県立看護専門学校	26人
聖泉大学 (人間学部、看護学部)	69人
古河AS株式会社	17人
甲良町小学生英語教室	186人
彦根市役所 (職員向け英語教室)	10人

(3) ミシガン日本センターを活用した地域との交流プログラムの実施 [委託]

① 地域交流事業

実施日	内容
4/7	地域の太鼓祭への参加
5/16	長浜市小学校教員英語研修ワークショップ
5/21	城北小学校3年生との交流会 (彦根市)

5/22	県内小学校外国語教育研修ワークショップ
6/12	虎姫高校ワークショップ
6/15	水口東中学・高校ワークショップ
6/23	JCMU 大学生国際交流ワークショップ
7/5	週末ホームステイ (7/5～7/7)
9/9	米原高校英語研修受講生との交流会
10/11	稲枝西小学校 5、6 年生との交流会 (彦根市)
11/7	滋賀県高校生スピーチコンテスト
11/8	週末ホームステイ (11/8～11/10)
11/19	城北小学校 5 年生との交流会 (彦根市)
11/25	城北小学校 6 年生との交流会 (彦根市)
1/18	小学生スピーチコンテスト練習 (彦根市)
2/7	小学生との交流会 (彦根市)
2/14	緑の少年団交流合宿 (2/14～2/15・多賀町)
2/14	週末ホームステイ (2/14～2/16)

② 公開講座等の開催

ア. 「JCMU 大学生国際交流ワークショップ」

開催日：6 月 23 日 (日)

会 場：ミシガン州立大学連合日本センター

参 加：JCMU 学生 30 人、県内大学生等 14 人

内 容：グローバルな飛び出し坊やを協働で製作

イ. 「JICA 海外協力隊×SDG s」パネル展、プチ相談会 in 滋賀

開催日：7 月 5 日 (金) ～8 月 6 日 (火)、9 月 21 日 (土)

会 場：ミシガン州立大学連合日本センター ロビー

内 容：海外青年協力隊に参加している県民の活動等の紹介
相談会実施 (9 月 21 日)

ウ. 「第 114 回公開講座」

テーマ：米国コロラド州の魅力

日 時：11 月 16 日 (土) 13:30～14:30

講 師：セーラ パリガさん (ミルバリー国際大学院エントレ校 2 年生)

参 加：33 人

(参考)

○日本語・日本文化プログラム学生数

・ 短期特別プログラム (5～8 月) : 21 人 【33 人】

・ 夏学期 (6～7 月) : 39 人 【34 人】

・ 秋学期 (9～12 月) : 29 人 【39 人】

・ 春学期 (1～4 月) : 38 人 【41 人】

計：127 人 【147 人】

※【 】書きは、前年の学生数・受講者数

(4) 姉妹友好州省への受入

ミシガン州友好親善使節団の受入

受入人員	30人		
受入期間	8月18日(日)～22日(木)	(うちホームステイ4泊5日)	
受入都市	大津市	10人	栗東市 2人
	彦根市	5人	甲賀市 5人
	近江八幡市	4人	高島市 1人
	守山市	2人	その他 1人

(5) 姉妹友好州省等交流代表団の受入等 [委託]

① 湖南農業大学研究交流団受入

受入人員 6人
受入期間 7月1日(月)～3日(水)

② 中国清華大学交流団受入

受入人員 11人
受入期間 7月24日(水)～25日(木)

③ ミシガン経済開発公団受入

受入人員 7人
受入期間 9月8日(日)

④ 湖南省農業農村庁団受入

受入人員 7人
受入期間 9月23日(月)～24日(火)

⑤ 香港貿易發展局総裁受入

受入人員 4人
受入期間 10月3日(木)

⑥ 湖南省農業科学院団受入

受入人員 6人
受入期間 10月28日(月)～30日(水)

⑦ 中国清華大学企業経営者訪問団受入

受入人員 7人
受入期間 11月7日(木)

⑧ 湖南省森林植物園団受入

受入人員 5人
受入期間 11月20日(水)

⑨ 「日中植林・植樹国際連帯事業」2019年度中国大学生友好交流訪日団
湖南省分団受入

受入人員 50人
受入期間 11月25日(月)～28日(木)

⑩ 湖南省海外聯誼会団受入

受入人員 7人
受入期間 12月4日(水)～5日(木)

⑪ 湖南省・市幹部研修団受入

受入人員 25人
受入期間 12月9日(月)～11日(水)

⑫ 韓国総領事受入

受入人員 4人
受入期間 11月28日(木)

⑬ 湖南省小学生代表団受入

受入人員 21人
受入期間 1月15日(水)～16日(木)

⑭ 元フランス首相受入

受入人員 4人
受入期間 2月7日(金)

《 多文化共生の地域づくり 》

1 外国人住民への支援

(1) 外国人相談窓口の設置

① 外国人相談窓口 [補助]

県内の外国人住民等からの様々な相談に対して、必要な情報の提供や助言を行った。また、従来の相談窓口を拡充し、名称を「しが外国人相談センター」と改め、県の多文化共生総合相談センターとしての業務を実施した。

- 「しが外国人相談センター」相談室拡充工事および名称変更 4月
- 相談室増設工事および交流スペース設置 4月
- 「しが外国人相談センター」びわ湖放送CM作成・放映 6～2月
- ベトナム語相談対応 5月開始
- インドネシア語相談対応 6月開始
- 多言語電話通訳サービスによる12言語相談対応 1月開始

対応言語・相談日時(相談員・通訳員)：

- ・ ポルトガル語、スペイン語 (月曜日～金曜日 10:00～17:00)
- ・ タガログ語、英語 (月曜日～木曜日 10:00～17:00)
- ・ ベトナム語 (月曜日～木曜日 10:00～17:00)
- ・ インドネシア語 (月火・木金曜日 10:00～17:00)

相談件数：950件(前年度 789件、対前年度比120.4%)

相談内容：入管手続 99件(構成比：10.4%)、雇用・労働 103件(10.9%)、社会保険・医療 212件(22.3%)、年金・税金 62件(6.5%)、出産・子育て 49件(5.2%)、子どもの教育 103件(10.8%)、住宅 37件(3.9%)、身分関係(結婚/離婚/DV等) 23件(2.4%)、その他 262件(27.6%)

○ 在留資格出張相談会の開催(進路フェア同時開催)

開催日：10月20日(日)

会場：滋賀県男女協働参画センター G-NET しが

相談対応：大阪出入国在留管理局職員

○ (公財) 滋賀県国際協会と滋賀弁護士会との多文化共生連携協定書締結

協定締結日：3月25日(水)

協定内容：外国人住民等の法律相談の実施（開始：2020年4月～）

協定に向けての協議：9/3、12/2、2/17

協議出席者：滋賀弁護士会、滋賀県庁総合企画部国際課、当協会の3者

- 新型コロナウイルス感染症 滋賀県庁外国語による相談窓口として相談対応開始

相談対応開始日：2月25日～

② 外国人相談員等研修会、連絡会議の開催 [補助]

ア. 研修会

[第1回研修会]

テーマ：「滋賀県立精神保健福祉センターの概要と対応事例について」

講師：精神保健福祉士 牛島 恵美さん（同センター）

開催日：2月5日（水）

会場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：19人

[第2回研修会]

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

イ. 連絡会議

2月5日（水） 16人

(2) 多言語による情報発信 [補助] [自主]

① 外国人向け情報紙「みみタロウ」の発行

発行回数：年4回（No. 131～No. 134）

発行部数：計18,000部/回

（内訳）日：3,000部、英：2,300部、ポ：4,100部、ス：2,100部、

ハ：1,300部、中：2,100部、台：1,200部、タ：1,900部

- ベトナム語版 7月号より発行開始
- インドネシア語版 10月号より発行開始

② ホームページおよびSNSによる生活情報等の発信

県内に在住する外国人住民等が必要とする生活情報等を、ホームページの生活Q&Aをはじめとするツールを使用し、従来の8言語から11言語に増やし情報提供を行った。

- 3言語（ベトナム語、インドネシア語、ネパール語）ページの追加7月
- 「多文化共生学校づくり支援サイト」ベトナム語追加 12月より公開
- 「多言語防災情報」ベトナム語、インドネシア語、ネパール語追加 ページリニューアル 2月より公開

(3) 外国にルーツを持つ子どもへの教育支援

① 外国にルーツを持つ児童生徒のための「進路フェア」の開催

[助成] [自主]

概要：高校進学に向けた進路ガイダンスの開催および様々な職種に就く先輩（10職種、先輩（学生・社会人））から児童生徒と保護者が相談

会形式で直接話しを聞く機会を設けた。特に、高校生には正規雇用と非正規雇用の違いについて学ぶためのゲーム形式によるアクティブラーニング研修を取り入れた。あわせて滋賀県教育委員会による個別進学相談ブース、滋賀労働局および県労働雇用政策課によるキャリア・ガイダンス・コーナーと大阪出入国在留管理局による在留資格相談ブースを設置。

【10 職種】調理師、営業職（サラリーマン）、語学を使う仕事、医師、教師、ものづくりの仕事（製造・設計）、パティシエ、コンピューター関係、ホテル業、ケアワーカー + 先輩ブース

ア. 運営会議

開催回数：計 3 回（6/3、9/5、12/19）

イ. 『進路フェア』の開催

開催日：10 月 20 日（日）

会 場：滋賀県立男女共同参画センター G-NET しが（近江八幡市）

参加者：計 70 人

外国にルーツを持つ児童生徒 34 人

【内訳】小学生 5 人、中学生 11 人、不明 1 人

高校生 17 人（うち、公立私立高 15 人、外国人学校 2 人）

保護者 31 人、引率・見学者 5 人

ウ. その他

○県内小中学校への外国語版進路資料の配布（10 月～12 月）

19 市町教育委員会、小中学校、市町・協会 その他

○湖南省教育委員会主催 外国人生徒交流会

12/3 進路説明および多言語進路資料配布協力

② 外国にルーツを持つ子どもへの日本語指導者養成講座 Part 12 [自主]

テーマ：「『外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント DLA』

の実践と支援につながる評価」

講 師：櫻井 千穂さん（広島大学大学院教育学研究科日本語教育学講座准教授）

伊藤 敦子さん（愛知県小牧市立大城小学校教諭）

開催日：8 月 20 日（火）

会 場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：48 人（うち、県教育委員会連携研修参加者 31 人）

※滋賀県教育委員会外国人児童生徒連絡会議連携研修として実施

③ その他

市町国際交流協会との意見交換会 ※入管との意見交換会終了後

テーマ：超過年齢等の外国にルーツを持つ生徒の公立高校進学手続きに関する協力について

開催日：10 月 31 日（木）

会 場：滋賀県大津合同庁舎 6 階会議室

参加者：県内市町国際交流協会 8 協会 11 人

(4) 災害時外国人支援

① 災害時外国人サポーター登録および研修

「災害時外国人サポーター養成講座」（共催：滋賀県、甲賀市、湖南市、甲賀市国際交流協会、湖南市国際協会、近畿地域国際化協会連絡協議会）

内 容：講義および災害時多言語支援センター運営訓練

講 師：高橋 伸行さん（一般財団法人自治体国際化協会地域アドバイザー）

開催日：2月22日（土）

会 場：三雲まちづくりセンター（湖南市）

参加者：73人

② 多言語非常持出袋、防災多言語資料の貸出

貸出件数：1件

*非常持出袋多言語カードは協会HPからダウンロード可。また、協会実施・協力の防災事業（県総合防災訓練等）にて展示に使用。

③ 消防職員対象 緊急時外国人対応に関する研修会への講師派遣等

〔初任教育研修〕

「緊急時・災害時の外国人対応について」

講 師：滋賀県国際交流員、協会職員

開催日：7月9日（火）

会 場：滋賀県消防学校（東近江市）

参加者：新任消防職員 55人

〔幹部教育初級幹部科〕

「緊急・災害時の外国人対応について」

講 師：滋賀県国際交流員、協会職員

開催日：12月6日（金）

会 場：滋賀県消防学校（東近江市）

参加者：16人

④ 近畿地域国際化協会連絡協議会 災害時外国人支援研究会への参加

近畿の地域国際化協会で構成する「災害時の外国人支援に関するネットワーク近畿ブロック研究会」の一員として広域連携の強化を図り、同研究会で開催する研修会や訓練に参加し、予防対策と発災後対応（応急対策）の両面からの広域的な支援体制づくりを行った。

【総 会】7月30日（火）（京都市）

【研究会】4回（6/13、10/1、12/12、3/12 ※3/12のみWeb会議形式で開催）

会 場：京都府国際センター

研究課題：協議会の体制、災害ボランティア、情報共有方法等

【共催研修への参加】 ※協会職員および災害サポーターが参加

・6/15 Kokoka 防災訓練 参加者 2人

・8/19 災害時に外国人支援に従事する関係者向けの研修・訓練事業
参加者 1人

・11/21 災害時の外国人被災者等のニーズ把握を考える（事例紹介・ワークショップ） 参加者 3人

【共催研修の実施】災害時多言語支援センター運営訓練 [再掲]

(共催：滋賀県、甲賀市、湖南市、甲賀市国際交流協会、湖南市国際協会、近畿地域国際化協会連絡協議会)

開催日：2月22日(土)

会場：湖南市

⑤ 助言等

- 甲賀市における災害時多言語支援体制検討会議メンバー
※甲賀市・市協会間の災害時外国人支援協定締結にもとづく活動
- 滋賀県災害時ボランティアネットワーク会議／要配慮者支援ネットワーク(事務局：滋賀県社会福祉協議会)委員
- 災害情報・防災情報関連の多言語情報発信(Facebook)

(5) その他の外国人支援 [自主]

① 日本語教育の支援

ア. 日本語指導者養成講座(共催：びわこ日本語ネットワーク)

講師：第1回・第2回 原田 朋子さん

(同志社大学日本語・日本語教育センター講師)

第3回～第5回 勝尾 纒美さん

(甲賀市国際交流協会日本語教室「虹」代表)

開催日：7月28日(日)(午前・午後＝第1回・第2回)

8月25日(日)(午前・午後＝第3回・第4回)

9月22日(日)(午前・午後＝第5回・第6回)

会場：第1回～第2回 コミュニティーセンターやす (野洲市)

第3回～第6回 コミュニティーセンターきたの (野洲市)

参加者：70人

イ. びわこ日本語ネットワーク「第16回外国人による日本語スピーチ大会」への開催協力

開催日：2月16日(日)

会場：滋賀県立男女共同参画センター G-net しが (近江八幡市)

来場者数：約330人

発表者：16人

■滋賀県国際協会会長賞：「捨てませんか」

アフィフディン ザキ ザムザミさん(インドネシア)

② 県内日本語教室等の情報提供

外国人向け情報紙およびホームページで県内日本語教室や外国人相談窓口情報の提供を行った。

③ 日本語教材・ブラジル教科書・関連図書の貸出

日本語指導教材蔵書数：340冊 貸出件数：4件、延べ22冊

ブラジル教科書蔵書数：51冊 貸出件数：4件、延べ21冊

④ 多言語情報の提供等

多文化共生学校づくり支援サイト ベトナム語追加(12月)、多言語防災情報ページリニューアル(2月)[再掲]、外国語が通じる病院の情報提供、多言語子育て情報サイト、生活Q&A等で随時情報を提供した。

(6) 外国籍学生等への奨学金の支給 [自主]

びわこ奨学金支給事業 (基金：3億円)

- ・留学生 支給額：月額 20,000 円 支給人員：10 人 (申請 17 人)
- ・外国籍大学生 支給額：月額 20,000 円 支給人員：3 人 (申請 5 人)

【びわこ奨学金授与式】

開催日：7月7日 (日)

会 場：ピアザ淡海 (大津市)

参加者：奨学生 6 人および引率者 3 人

2. 多文化共生によるまちづくり

(1) 防災から広げる共生のまちづくり [自主] [再掲]

外国人向け防災教室の実施 (多言語支援センター運営訓練との同時実施)

(共 催：滋賀県、甲賀市、湖南市、甲賀市国際交流協会、湖南市国際協会、近畿地域国際化協会連絡協議会)

内 容：非常食体験、「やさしい日本語」による防災講義

開催日：2月22日 (土)

会 場：三雲まちづくりセンター (湖南市)

参加者：22 人 (タイ、ベトナム、ペルー、中国等)

(2) 多文化共生に関する情報提供やアドバイス等 [自主]

① 外国人住民支援・多文化共生に関する相談対応：100 件

② アドバイス等

- ・ 滋賀県多文化共生推進プラン検討懇話会委員・オブザーバー
- ・ 「帰国・外国人児童生徒教育指導連絡協議会」資料提供 (5/31)
- ・ 令和元年度第 2 回滋賀県総合教育会議出席 (7/12)
- ・ 長浜市多文化共生・国際化のまちづくり市民会議委員
- ・ 滋賀県介護職員人材育成事業外国人 (湖南地域) 外国人介護職員養成研修広報協力
- ・ 滋賀県県民活動生活課主催「第 3 回滋賀県協働プラットフォーム」への参加協力

③ 講師等 (国際協会職員) 派遣等

・ 5/8	近畿弁護士会連合会子どもの権利実行委員会 (滋賀県) ヒアリング受入れ	訪問者	1 人
・ 5/29	多文化共生事業第 1 回ローカライズ研修会 (於：京都市)	受講者	21 人
・ 6/20	滋賀県労働委員会ヒアリング受入れ	訪問者	3 人
・ 6/24	地域教育プログラム (地域基礎科目) 「多文化共生論」 (必修授業)	受講者	69 人
・ 7/3	2019 年度地域総合センター職員研修会 (相談援助技術講座) (滋賀県人権センター)	受講者	19 人
・ 7/21	龍谷大学 NPO ボランティアセンター学生スタッフ受入	訪問者	5 人
・ 7/31	令和元年度第 2 回総合企画部勉強会・交流会	受講者	20 人
・ 8/24	2019 年度社会福祉法人近江和順会 法人研修	受講者	90 人
・ 9/25	2019 年度第 1 回人権教育基礎研修 (高島市)	受講者	16 人

・ 10/21	立命館大学情報理工学部訪問受入れ（村上陽平准教授）	訪問者	12人
・ 11/16	滋賀県立大学キャンパス SDGs ワークショップ	受講者	10人
・ 12/5	（特活）国際活動市民中心(CINGA)（東京）（法務省：多文化共生総合相談ワンストップセンター業務ヒアリング調査）訪問受入れ	訪問者	2人
・ 12/11	「広報もりやま」(3/15号)特集号取材受入れ	訪問者	2人
・ 12/13	滋賀大学公共経営イブニングスクール	受講者	18人
・ 1/9	レイカディア大学米原校	受講者	85人
・ 1/17	レイカディア大学草津校	受講者	280人
・ 1/21	大津市立日吉中学校 第3学年人権学習	受講者	33人
・ 1/26	2020年4月「湖国と文化」春号 特集取材訪問受入れ	訪問者	1人
・ 1/31	令和元年度彦根市庁多文化共生推進会議	受講者	25人
・ 2/4	国際文化研修「第2回多文化共生の地域づくりコース」（就労のための環境整備）	受講者	58人
・ 2/14	滋賀県立図書館 令和元年度ステップアップ研修	受講者	26人

《 情報収集・提供による環境づくり 》

1 情報収集・提供事業

(1) 国際交流・協力情報誌「SIA しーあ」の発行 [補助] [自主]

発行回数：年3回 112号（7月）、113号（11月）、114号（3月）

発行部数：2,500部/回

(2) メールマガジン「滋賀県国際交流ニュース」の配信 [自主]

発行回数：毎月1回

送信件数：417件/回

(3) インターネット・ホームページによる情報提供 [自主]

① 協会ホームページアクセス数：132,000アクセス（前年度 90,685）

月平均：11,000アクセス（前年度 7,557）

② S I A Facebook リーチ数：104,036リーチ（前年度 90,379）

（参考：記事投稿件数 838件）（前年度 511）

(4) 国際情報サロンによる情報提供 [自主]

① サロン展示事業および啓発展示

・ SDGs 特集「SDGs はエスディーゼズと読みます」

・ ベトナム特集「Xin Chao はベトナム語で“こんにちは”って意味だよ」

・ 協会40周年記念特集「SIA 国際協会の歩いた40年」

・ インドネシア特集「“みんなちがって みんないい”をめざす インドネシアは多様性の国」

② 交流スペースの貸出 77回（日本語教室等）

③ 国際情報サロン図書等の貸出（日本語教材、国際教育教材を除く）

サロン図書の貸出 ・貸出：3件、6冊
国旗の貸出（普通旗・卓上旗）
・貸出：8件、延べ27点（8か国・地域）

（５）関連機関・団体との連携・協働による事業実施 [再掲]

- ・ 法務省大阪出入国在留管理局（進路フェア他）
- ・ 県教育委員会、市教育委員会等（進路フェアの実施、外国にルーツを持つ子どもへの日本語指導者養成講座）
- ・ 県総合企画部国際課、感染症対策課（法律相談、新型コロナウイルス相談窓口）
- ・ 県医療福祉推進課（外国人介護職員養成事業の実施協力等）
- ・ 県国際課、市防災および多文化共生担当課、市協会等（防災事業の実施）
- ・ 滋賀弁護士会（法律相談）
- ・ 滋賀県進路保障推進協議会等（進路フェアの実施）
- ・ JICA 関西（開発教育・国際教育研修の実施）

（６）海外渡航の支援 [自主]

① 渡航相談業務 2件

② 写真撮影（パスポート用写真の撮影）

撮影日および時間：月曜日～金曜日 9:00～16:30

撮影場所：パスポートセンター（ピアザ淡海1F）横

利用者数：15,651人（前年度 17,807人）

《 ボランティア、市民活動団体の活動促進 》

1 ボランティアの活動促進 [自主]

（１）S I Aボランティアの登録・紹介（3月31日現在）

国際交流支援 登録：81人、紹介：2件、延べ11人

ホームステイ・ホームビジット 登録：65人、紹介：1件

通訳・翻訳 登録：125人、紹介：3件、延べ4人

登録者数合計 延べ271人（172人）

- ・ ボランティア オリエンテーション：随時
- ・ 関西国際交流ボランティアネットワーク会議（KIV-NET）運営委員

（２）災害時外国人サポーター登録制度（3月31日現在）

ア．登録者数：113人

イ．講座および研修への参加案内等

- ・ 6/15 kokoka 防災訓練（主催：（公財）京都市国際交流協会）

参加者2人

- ・ 2/22 災害時外国人サポーター養成講座の受講

参加者3人

（３）ボランティア情報の発信

メーリングリストによる情報提供：44件

ボランティア相談対応：6件

2 市民活動団体等活動促進事業 [自主]

(1) 滋賀県国際交流推進協議会の運営支援

参加団体：69 団体（地域協会部会 16 団体、団体部会 53 団体）

① 全体会議・部会会議

開催日：7月4日（木）

会 場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：30 人（全体会議、地域協会部会・団体部会会議）

② 地域協会部会・団体部会研修会

概 要：午前（地域協会部会のみ）京都市国際交流協会事業紹介
午後（各部会合同）京都市南区東九条在日コリアン支援施設訪問、
事業説明、意見交換、東九条地域説明、
フィールドワーク等施設見学、意見交換等

開催日：12月12日（木）

会 場：京都市国際交流協会、NPO 法人在日コリアンサポートセンター
エルファおよび東九条地域周辺（京都市内）

参加者：延べ 37 人

③ 全体研修会

テーマ：「隣人としてのムスリム～外国人労働者受入拡大にあたって～」

講 師：内藤 正典さん（同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教授）

開催日：7月4日（木）

会 場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：47 人（全体研修会）

④ 運営委員会

開催回数：2 回

開催日：4月24日（水） * 2回目については3月に書面にて実施

(2) 国際交流推進セミナーの開催 [再掲]

テーマ：「隣人としてのムスリム～外国人労働者受入拡大にあたって～」

講 師：内藤 正典さん（同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教授）

開催日：7月4日（木）

会 場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：47 人

(3) 市民活動団体等への支援

- ・その他、後援事業数 12 件、うち協力事業数 1 件
- ・その他、県内の関連団体等からの相談に随時対応。

(4) JICA国際協力推進員の活動

独立行政法人国際協力機構関西国際センターから駐在（1人）

国際協力に対する県民の理解促進と支持の拡大および国際協力活動への参加促進を目的に活動した。

《 協会の基盤整備 》

1 協会設立40周年記念事業の実施 [自主]

国際協会の設立40周年に際し、広く県民に国際理解を促すための講演や国際交流功労者表彰などの記念式典を行った。

開催日：11月30日（土）

会 場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：173人

内 容：記念式典、滋賀国際交流賞授与、記念講演会

【記念講演会】 [再掲]

テーマ：「オモテナシからオトモダチへ」

講 師： モーリー・ロバートソンさん（国際ジャーナリスト）

【滋賀国際交流賞表彰受賞者】

<滋賀国際交流功労賞>

- ・八日市日本語教室
- ・多文化共生支援センター
- ・馬淵 紘子さん

<滋賀国際交流奨励賞>

- ・日和
- ・（公社）滋賀県放射線技師会
- ・中田 ケンコさん

<滋賀国際交流特別賞>

- ・国際教育研究会 Glocal net Shiga

2 会員および支援者の確保

会員向け事業やサービスの充実を図るとともに、講座やワークショップ開催時など各種機会において入会の案内を行った。

あわせて、来所者や国際情報サロン利用者に対して協会実施の事業や趣旨、意義について説明をすることで、会員確保に向けての啓発を行った。

* 税額控除証明書を2017年11月29日に再取得。

（個人からの寄付《会費も含む》について、税額控除される法人として認定）

○寄附金：3件、211,800円

○会員数 個人会員： 272人 （前年度末：294人）

団体会員： 93団体 （前年度末：94団体）

計 365会員 （前年度末：388会員）